

6. 桜の名所・花の名所

母恋富士下サクラ並木

昭和38年(1963)、横山広見、桜博士の異名をとる伊藤広造、元日鋼社員の水上武夫らが、ここに桜の名所をつくろうと同好会を発足させました。以来長年にわたり、地域の人たちが手塩にかけて育て、最初は小指ほどの太さだった苗木も、今では幹回り1m以上にも成長し、約29種、130本余りのソメイヨシノやカンザンなどが5月上旬から6月上旬にかけて、咲きほこり花吹雪を演出しています。

中でも、宮城県塩竈市の鹽竈(しおがま)神社に3年がかりで足を運んだ末、許可を得た門外不出の「鹽竈桜」は、昭和57年に移植され、一味違った花びらを楽しませてくれています。その他、京都御所の「御車返し」や兼六園の「菊桜」などがあります。

昭和56年(1981)、伊藤は、日本さくらの会を通じて富士下の桜の種3万粒をアメリカに送りました。ワシントン市ポトマック公園では、海を渡った富士下の桜が、今も春を彩っています。

平成14年(2002)、桜の樹木の状態がテングス病により悪化したため、以前のように咲き誇る桜並木にしようと地域住民で「富士下サクラ並木の会」を発足し、同会の皆さんが保全活動を行っています。開花時にはお花見スペースも用意されています。

鹽竈桜 : 八重。平安時代から愛でられており、鹽竈神社では国の天然記念物にも指定されていた古木。鹽竈神社以外では、北海道神宮、白老神社、母恋富士下のみで観ることができる。

御車返し : ピンクの八重。江戸時代初期、御水尾(ごみずのお)天皇が、その花の余りの美しさに御車を引き返して観られたという桜。

菊桜 : 八重。金沢の兼六園で生まれた桜で、花弁が多い。

染井吉野 : 一重。緑の若葉が出る前に、木全体を花で覆ったように花が咲く。国内はもとより海外にまで広がっている。

関山 : 八重。セキヤマともいう。昔から全国で見られる品種で広く栽培されている。厚ぼったく、大輪の華やかな花が特徴。

mini情報 サクラの開花

室蘭のサクラ開花日は、平年値5月6日で、開花の基準となる標本木は、室蘭八幡宮境内のソメイヨシノ。標本木に5～6輪以上の花が開いた日に、气象台が開花宣言し、開花してから満開になるまでは、数日から1週間程度かかる。また、ヤエザクラは開花が遅く、例年5月下旬に見ごろを迎える。

崎守町の一本桜 (私有地につき、立ち入り禁止)

道央道室蘭インターチェンジから伊達方向に向かう途中の道道室蘭環状線沿いの牧草地(崎守町)に、ポツンと一本、樹齢100年以上、高さ10mほどの見事なエゾヤマザクラがあります。

幌萌町のエゾヤマザクラ (保存林・樹木...23ページ参照)

樹齢約210年の胆振地方最大級のエゾヤマザクラで、室蘭市の保存樹木に指定されています。威風堂々とした高さ16m、幹回り4.3mのこのサクラは、寿命をはるかに超えており、防風雪などで幹の損傷が進んだため、樹木医等により修復されています。開花の時期には、市民有志の手により、夜間はライトアップされています。

測量山桜ロード

市民団体の室蘭昭和会が中心となって、「子供達に自然を通して郷土を愛する心を」「測量山に自然豊かな憩いの場を創ろう」を合言葉に、測量山を桜でいっぱいにと、平成13年に「測量山桜ロード実行委員会」を設立しました。翌年から毎年植樹に取り組み、平成18年には100本を超え、今では350本を超えるまでになりました。

市民に1本3,500円の苗木協賛金を「就職や進学などの記念として、桜の測量山づくりに協力していただく」趣旨で提供してもらい、一緒に植樹した後は提供者の名前が刻まれたプレートが木に掲げられます。また、同会の有志が毎年、この桜ロードや測量山から唐松平付近の桜の手入れを行って、保全に努めており、毎年植樹者との育成の集いも開催されています。

問い合わせ先 測量山桜ロード実行委員会事務局 電話 0143-46-4881
FAX 0143-46-4885

アジサイロード（白鳥大橋記念館「みたら」(道の駅「みたら室蘭」)前の通り)

室蘭商工会議所がまちのイメージアップのために、市民公募した「地域活性化論文コンテスト」の「室蘭をアジサイでいっぱい」という提言を受け、平成9年から「市民一株運動」で市民から株を募り、白鳥大橋記念館「みたら」の前の通りに植栽しました。埋立地で風も強く育成を心配しましたが、一年目から花を咲かせ、今ではアジサイロードの名にふさわしい景観となりました。一人の市民の提言が、多くの市民の協力で実現したアジサイロードです。

祝津臨海公園の桜並木

祝津会館裏手の幅約20m、長さ約300mにわたって、祝津町会が毎年ヤエザクラを中心に植樹し、400本にもなります。海沿いで風が強いので高く成長しない木は、花見に向いています。平成21年の祝津商店会55周年を節目に、桜祭りの開催を始め、現在はこのお祭りで毎年数本の記念植樹を行っています。

地球岬アジサイロード

「地球岬を勝手に広める会」と「アジサイの会」が協力して、地球岬に至る観光道路をアジサイでいっぱいにとしようと、市民に苗の提供を呼び掛け、植栽を続けています。平成19年には600株を超え、7月中旬から下旬にかけて道路両脇に並んだアジサイが見事な花を咲かせています。毎年植栽と手入れを両会の皆さんが行っています。

中島1丁目1条通線の桜並木と季節の花々

JR室蘭本線と並行している中島1丁目1条通線沿いに、あすなろ町会の皆さんが、昭和53年から植樹しているサクラ250本と、その向かいの歩道にチューリップをはじめマーガレットやアヤメなど季節に応じた花を植えて、手入れをしています。彩りも豊かなサクラと花々は、JR乗客や通線を通る人たちに喜ばれています。

知利別川沿い桜並木とアヤメ

中島町を流れる知利別川兩岸に桜を植樹しています。花の頃には、桜を観ながら街中にある川岸の遊歩道として楽しめます。また、川岸には「むろらんあやめ会」により、植えられたアヤメが、7月初めから中旬にかけて見ごろで、彩りを添えています。

鷺別川沿い桜並木とコスモス

室蘭市と登別市の境を流れる鷺別川沿いに、毎年春になると、高砂町から水元町までの1.5kmを見事な桜並木が飾ります。付近の町会の人たちが、昭和50年から4年間かけて植樹したヤエザクラ500本が、立派に育っています。毎年開花の時期には、「桜まつり」が開催されます。

今では、毎年桜の花の季節が終わる頃に、地元の有志が集まって毎年コツコツと種を植えたコスモスが花をつけ始め、夏から秋にかけて色も鮮やかに咲き揃います。

コスモスロード

平成14年に八丁平連合町会が中心となり、市民有志で「グリーンボランティアクラブ」を発足し、八丁平地区の道道を「コスモスロード」とするために活動を始めました。種まきや花壇の整備などを行って、地域の景観と緑化のために活動を続けています。

白鳥台北公園

「白鳥台北公園に桜を咲かせる会」が、平成12年から住民総参加で植樹をスタートし、今では約400本となりました。毎年「桜まつり」が行われています。

臨港道路陣屋崎守線沿道のサクラ

道外在住の地主自らが植樹し、毎年1、2度来蘭して手入れをしています。臨港道路沿いに立ち並ぶサクラは、通行する人達の目を楽しませています。